

各砲兵隊に附

國定忠次
「五十五」
田中 邦子 主演
打も明けた真意
「五十五」
田中 邦子 主演
打も明けた真意

中央婦人科
院長 衣笠 茂
婦人科 三〇〇番
婦人科 三〇〇番



林業
林業 林業
林業 林業
林業 林業

毛を生
毛を生
毛を生
毛を生

宮城式花嫁
宮城式花嫁
宮城式花嫁
宮城式花嫁

Table with multiple columns and rows, likely a schedule or list of items.

所工舎正開
所工舎正開
所工舎正開
所工舎正開

難病恐に足らず
難病恐に足らず
難病恐に足らず
難病恐に足らず

急病婦人倶楽部
急病婦人倶楽部
急病婦人倶楽部
急病婦人倶楽部

眼科西村
眼科西村
眼科西村
眼科西村

五千圓の宝
五千圓の宝
五千圓の宝
五千圓の宝

懸賞
懸賞
懸賞
懸賞

一課題
一課題
一課題
一課題

クゲート
クゲート
クゲート
クゲート

オシドリ
オシドリ
オシドリ
オシドリ

大和
大和
大和
大和

東京新聞

獨逸の現状

ソル大使の演説

獨逸の現状は、ソル大使の演説によつて、大體に明瞭である。獨逸は、戦後、大變遷を遂げ、共和政體を樹立し、民主主義の道を歩み、平和の道に進むことを決意した。この演説は、獨逸の新政體の基礎となるもので、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。

獨逸の新政體は、共和政體であり、民主主義の道を進むことを決意した。この演説は、獨逸の内外に大きな影響を及ぼした。



世界の旅

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

世界の旅は、世界の各地をめぐり、その風土人情を学ぶことである。この旅は、世界の平和と友好を促進するために、多くの人が参加している。

申告書

記入心得

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

申告書の記入は、正確かつ明瞭であることが必要である。記入者は、申告書の内容に責任を負うべきである。

亞米利加夜話

エミエ生

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

亞米利加の夜話、エミエ生の生活は、大変なものである。彼は、多くの困難を乗り越え、成功を収めた。

業務擴張、社名變更ニ付謹告

東京市麹町區永樂町一丁目一番地

大北火災保險株式會社

今般新ニ運送保險及海上保險ノ事業兼營致候

ニ付左ノ通り社名變更仕候間倍舊御引立願上候

大正十四年五月

大北火災海上運送保險株式會社

東京市麹町區二丁目四番地

京 城 出 張 所

修養ノ教訓ニ趣味

實益ノ源泉ニ

江部隼村氏編

美談逸話全集

修養ノ教訓ニ趣味

實益ノ源泉ニ

江部隼村氏編

美談逸話全集

修養ノ教訓ニ趣味

新刊出版

朝野新聞

朝野新聞

朝野新聞

朝野新聞

朝野新聞

有 薰 清 酒

東京市麹町區

電話 1171 番

首藤京城支店

有 薰 清 酒

東京市麹町區

大北火災海上運送保險株式會社

東京市麹町區二丁目四番地

京 城 出 張 所

修養ノ教訓ニ趣味

實益ノ源泉ニ

江部隼村氏編

大北火災海上運送保險株式會社

東京市麹町區二丁目四番地

京 城 出 張 所

修養ノ教訓ニ趣味

實益ノ源泉ニ

江部隼村氏編

槌口富麿書
渡邊霞亭作

足下から書かれて、お慰め泣かせたことは思ひが、どせ三人が眞口阿茶に、自分と増興を感じしたに違ひないと思つた。それは、自分が思ふに樂みに、それに伴ふ苦しみを持つてゐるだけ、まゐした病は普通のより、いふに違つてゐるやうに思ふ。

ずつと多うけたつた。
 感うし罪を惡した者は、其罪
 が取れれば、いほど、靈を忍れ
 るまである。靈はどの罪の者も、
 まさかには、かゝる靈の者も、
 君の手から靈を奪ひ去る氣
 遣ひは無い。知りつゝ、どうかし
 るが、靈は、とがた心か
 聚まつて、互に軋り合へる。
 だつた。他目には花の匂、匂
 の主のやうに見えて、内裏に、
 にかたて飛ぶ。飛ぶやうな
 に、望めぬ。
 他人でない、親子、あるが、

て、観を助かるといふに似せしむるも、太一かかはたた人の心はあつた。それで、成べくある。せめて中休暇に待つる時だけでもその聲かいき香の原から聞きたいとする。お君は

お親で、膝の下にかうしてゐた
疵を全部を振り出して、お近の手
へ廻したことを、破らし、犯罪者
へ知られたまふるので、これも
その爲に（ば）付いて貰た

しみたい。お親、また疵を足に
するだけ、甲斐と感うたい
それは、人師として正當な
なりやならない。然も、公
にけりて盛衰は

その爲めに二人は毎日書を突
きつけて、同部屋に坐つてた
際、幾度も、月夜の露を持つてな
がさへこもへない。お茶はお
君で、太一の事氣に掛けるがら
路肩にも出ない。

なにくつてばかりのるる
 ものぞと石壁は隘口を云々廻だ
 つた
 それでも案は、局の内へ散いて
 る女を見るく、三日の四日
 目かには、自分の會社へ勤來に行
 かなばと、

儲かる何何んの策なし
 に早く起き、故太
 朝から忙し目である。酒
 罷かひきまきしに足をと
 り、

川柳三千句

其の不出中に、近邊と太一が
 建近づいて、自分を驚つただ
 りのを恐れるのと、微聲二か、
 自の持つてゐる照心をすつり
 手掛けたるその微聲の無い持に
 手掛けたるの動いてるやうに
 心臓の脈ごとく尻をあ
 るのせ、
 其のし、句を、見
 今早朝く起きたのが所謂
 の今に扱つて驚き
 何氣なく
 二の坐云ふの
 だつたかも知
 體

經濟欄

に依れば今年の春騒然
し。

は例年に比し、桑芽の發育速
る爲、播立時期も亦例年に比
し、播種乃至十日間遅延せり、因

豊田六千二百四十二枚に、
年に比し千百九十五枚の増
ち約八分の増加を示せり。

三、買見面賣の財物種類は天價
値して不良なりしも買見の成實
は常に良好なり。

とも大部分は過个展な

近く發表せ、
有質殖銀頭販

てゐるが開業早々非常に多
ある。銀行の金利引下げ

點もあるので何も斯も一
といふ際にも行くまい

釜山 一番六月末三
二番七月末三八圓六七

○▲三市六月末三八五
八圓七三先三八圓八五

宋三八圓四一・三番六
○五七月來三八圓四三

圖八

[illegible][illegible]

優秀石鹼たる理由

温雅なる芳香を有す

精製砂糖の華には勝れて、明々たるは住い箱とて、もこの人はそれをやうなことがありまうにミツツツの香には、精製の砂糖を基礎と、研究してその香を加へるがため、これは、東洋人、學問に達する

極めて細かき泡沫を生ず

佳い香すが、深くて、重く、難し、好く好れて、古く、でも、久しく、究極料、であります。それで、お使ひになるが、母もはねぬに、不飽和の箱とし、最も優れたものであります。

蝨は陽水と精料を以て、油を食ふが、油は海に流れて、大層なもので、汗や皮膚の脂肪分を、皮膚を研ぐる有つて、油を無害になし、皮膚を十分清潔に保つて、其の作用が倍々

洗滌後石鹼分を残留せず

置れて、か、か、か、な
 す、本君が方、方、方、く
 い、洗、つ、つ、つ、つ、
 も、ぬ、ぬ、ぬ、ぬ、ぬ、
 も、あ、あ、あ、あ、あ、
 たります。

本邦人特有の皮膚に適す


でもね、これにせよ、靴を用ひねばなまぬき、手袋に然るにも赤毛襪は此の風流に身で遠慮するやうに胡蝶と云ふて居ますから、お美人さん入浴化粧

[illegible][illegible]

慶秀

として、自製醬料をやつ
て開菜すると非常に多量で
行の金額が下りた様だ
といふ。開菜も行くまい。

石鹼



特長

ミツバ石鹼は化學上の純石鹼たるは勿論の芳温細泡洗滌作用緩和溶解適度殊に本邦人特有の皮膚分泌多量にして而も粗糖なる皮膚及び漆黒を貴毛髮の洗淨に最もよく適應す

大 第三拾五號
中 第二拾五號
小 第一拾五號

芳香を主とする機械煉製石鹼

三十番 第四拾五號
フーバー 第二拾五號
水製石鹼

大 第五拾五號
中 第五拾五號
小 第五拾五號

◎ミツバ石鹼の種類

形 第一拾五號
形 第二拾五號
形 第三拾五號
形 第四拾五號
形 第五拾五號
形 第六拾五號
形 第七拾五號

理由

特長

店商屋見丸○ 京東 鋪本輪石ワツミ○

岩田病院

内外科
水主

朝鮮郵船定期出帆廣告

東京郵船株式會社
電話二六二〇

船名	出帆日	出帆時	代理店
芝罘丸	六月九日	午後六時	芝罘丸
江都丸	六月十日	午後六時	江都丸
南浦丸	六月十一日	午後六時	南浦丸
統江丸	六月十二日	午後六時	統江丸
興江丸	六月十三日	午後六時	興江丸
會安丸	六月十四日	午後六時	會安丸
平安丸	六月十五日	午後六時	平安丸
安江丸	六月十六日	午後六時	安江丸
統江丸	六月十七日	午後六時	統江丸
興江丸	六月十八日	午後六時	興江丸
會安丸	六月十九日	午後六時	會安丸
平安丸	六月二十日	午後六時	平安丸
安江丸	六月二十一日	午後六時	安江丸
統江丸	六月二十二日	午後六時	統江丸
興江丸	六月二十三日	午後六時	興江丸
會安丸	六月二十四日	午後六時	會安丸
平安丸	六月二十五日	午後六時	平安丸
安江丸	六月二十六日	午後六時	安江丸
統江丸	六月二十七日	午後六時	統江丸
興江丸	六月二十八日	午後六時	興江丸
會安丸	六月二十九日	午後六時	會安丸
平安丸	六月三十日	午後六時	平安丸

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

大阪商船株式會社
電話二六二〇

船名	出帆日	出帆時	代理店
仁川丸	六月九日	午後六時	仁川丸
大連丸	六月十日	午後六時	大連丸
釜山丸	六月十一日	午後六時	釜山丸
青島丸	六月十二日	午後六時	青島丸
天津丸	六月十三日	午後六時	天津丸
北京丸	六月十四日	午後六時	北京丸
上海丸	六月十五日	午後六時	上海丸
香港丸	六月十六日	午後六時	香港丸
廣州丸	六月十七日	午後六時	廣州丸
汕頭丸	六月十八日	午後六時	汕頭丸
廈門丸	六月十九日	午後六時	廈門丸
福州丸	六月二十日	午後六時	福州丸
寧波丸	六月二十一日	午後六時	寧波丸
溫州丸	六月二十二日	午後六時	溫州丸
杭州丸	六月二十三日	午後六時	杭州丸
紹興丸	六月二十四日	午後六時	紹興丸
嘉興丸	六月二十五日	午後六時	嘉興丸
湖州丸	六月二十六日	午後六時	湖州丸
蘇州丸	六月二十七日	午後六時	蘇州丸
無錫丸	六月二十八日	午後六時	無錫丸
常州丸	六月二十九日	午後六時	常州丸
鎮江丸	六月三十日	午後六時	鎮江丸